

# 『EXHIBITION OF IRON WORK by 名古屋芸大×アイアンラボ』

## インダストリアルデザインコース 夢サポート募金 事業報告

2018年5月9日

芸術学部

片岡祐司

名古屋芸術大学デザイン研究所及びデザイン学部インダストリアルデザインコースは、東海地区の地元中小企業による地域活性化のための研究組織『チームエコラボ』に所属するナガサキ工業株式会社と連携し、新製品のデザイン開発を通じて地域産業の活性化に貢献することを目指して「新製品デザイン開発プロジェクト」に取り組みました。今回はこれを三越デパート栄店のギャラリーにて展示発表会を実施するために夢サポート募金を活用しました。

開発製品は、ナガサキ工業株式会社で生産することを前提とした金属素材を用いた家庭用品および雑貨。

テーマとしては以下の中から学生が選んで考案しました。

- ①新生活用の贈り物
- ②クリスマスギフト
- ③ガーデン用品
- ④アウトドア用品

このプロジェクトは今年で3年目を迎え、本年は3・4年生（全38名）が参加、4月14日からスタートしました。最初はナガサキ工業本社工場の見学に始まり、アイデアスケッチ、デザイン案の決定・製造技術研究・デザイン図制作、中間プレゼンテーションなどを経て、6月16日（金）に最終プレゼンテーションを行いました。この間、週に1、2回はナガサキ工業のスタッフが授業に参加、デザイン以外にも製品としての生産性やコストなどの重要な要件などを指導していただきました。

最終プレゼンテーションにはナガサキ工業株式会社より2名のスタッフが参加、本学教授、和田・片岡に、学生は一人ずつ順番に、デザイン案のスケッチなどを貼り付けたパネルと作品のモデルを用いて、コンセプトから使用目的、形状や大きさ、既製品との違い、優位性、利便性などを説明していきました。案はマスキングテープホルダー、靴を脱ぐ行為に着目した製品、ペン立て、プレゼントボックス、アクセサリースタンド、傘立て、ホースラック、めがねスタンド、新聞ストッカーなど。鉄の素材の良さに着目しながら線材だけで制作できるものなど、加工や生産性も兼ねて計画し、実際に鉄を溶接したり、何度も改良して仕上げたりと、全体的に精密なモデルが多く、製品レベルに近い充実したものでした。

発表されたデザイン作品より、ナガサキ工業と本学の教授が優れた作品を12点選び、さらに指導を受け作品を展示用にリファイン。一部はナガサキ工業で実際の素材を使っ

試作品を制作し、デザインモデルと合わせて名古屋三越栄店 展示スペースにて10月4日（水）～10日（火）の間『EXHIBITION OF IRON WORK by 名古屋芸大×アイアンラボ』を開催しました。

この際に、来場者にアンケートを行い評価の高い作品は優秀賞を授与され、製品化の検討に入りました。

#### ■ 最終プレゼンテーション時の写真



全体講評を行うナガサキ工業の松永裕詳氏



使用時のシチュエーションを加えながら提案する学生



3Dを用いて提案する学生



溶接した鉄の模型を使って提案する学生



2 作品の提案を行う学生



実際に模型を使用しながら提案をする学生

■ 三越デパートでの発表展示会の写真





